

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭64-50647

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和64年(1989)3月29日

H 02 K 5/22
5/08

7052-5H
A-6821-5H

審査請求 未請求 (全1頁)

⑮ 考案の名称 電動機の給電用コネクタ抜け止め機構

⑯ 実 願 昭62-144261

⑰ 出 願 昭62(1987)9月21日

⑱ 考 案 者 恩 田 幸 雄 群馬県太田市西矢島32番地 群馬日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 群馬日本電気株式会社 群馬県太田市西矢島32番地

⑳ 代 理 人 弁理士 村田 幹雄

㉑ 実用新案登録請求の範囲

固定子巻線引出し部をプリント配線基板により構成した樹脂封入型固定子電動機の上記プリント配線基板に接続する給電用コネクタ抜け止め機構において、上記給電用コネクタの両側には、弾性材よりなる係合抜け止め部を設け、また上記樹脂封入型固定子電動機のプリント配線基板の両側には、上記係合抜け止め部と弾発係合して給電用コネクタの嵌合状態を維持する係止部を封入用樹脂により一体的に形成したことを特徴とする

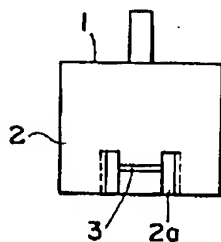
電動機の給電用コネクタ抜け止め機構。

図面の簡単な説明

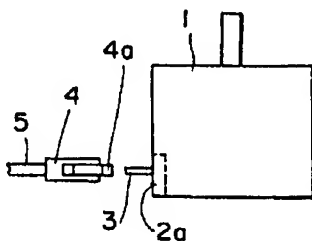
第1図乃至第3図は本考案の第1実施例を示す図であり、第1図はその正面図、第2図は側面図、第3図は底面図、第4図は本考案の第2実施例の底面図、第5図は本考案の第3実施例の底面図、第6図は従来例の側面図である。

1：樹脂封入型固定子電動機、2：固定子、2a：係止部、3：プリント配線基板、4：給電用コネクタ、4a：係合抜け止め部。

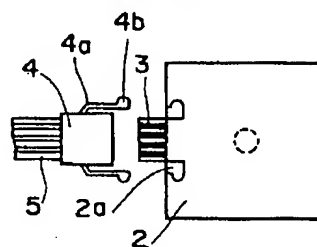
第1図



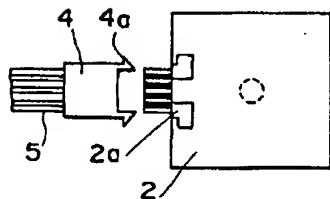
第2図



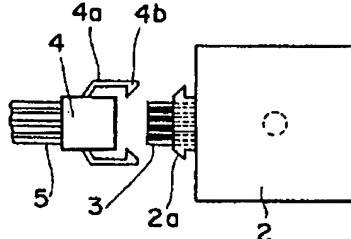
第3図



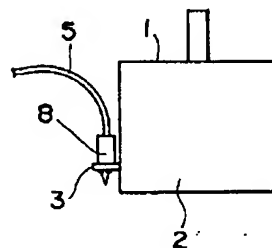
第4図



第5図



第6図



⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-147672

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)10月12日

H 02 K 29/08
5/08
11/00

7052-5H

A-6340-5H

C-7304-5H 審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑮ 考案の名称 モールド電動機

⑯ 実 願 昭63-43680

⑰ 出 願 昭63(1988)3月31日

⑱ 考 案 者 小 川 善 朗 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑲ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 分割形成されたステータコアにコイルを巻装し、これを合成樹脂等の絶縁素材によって一体的にインサート成形してステータを構成してなるモールド電動機において、上記ステータの両端部にエンドブラケットを取付けるための段凹部を形成するとともに、その一侧の段凹部に磁気感应素子を具えた配線基板を保持するための溝部を形成してなることを特徴とするモールド電動機。

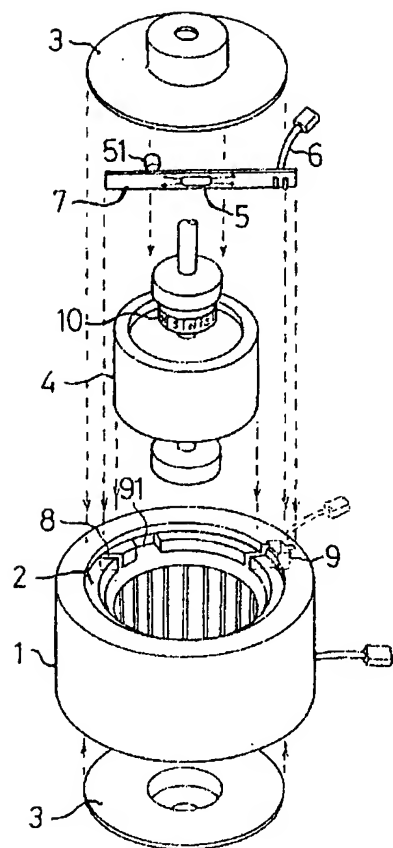
(2) 上記ステータの一侧の段凹部に引出し線を接続した配線基板を取付けるための溝部を形成し、この配線基板と溝部により引出し線の端部を固定してなる請求項1記載のモールド電動機。

(3) 上記ステータの一侧の段凹部に配線基板に装着された電子部品を収納するための溝部を形成してなる請求項1記載のモールド電動機。

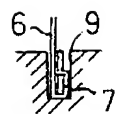
図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示すモールド電動機の要部分解斜視図、第2図は同じく引出し線の取付部の要部切欠側面図、第3図は同じく他の実施例を示すモールド電動機の要部分解斜視図、第4図は同じく他の実施例を示すモールド電動機の要部分解斜視図、第5図は従来のモールド電動機の要部分解斜視図である。

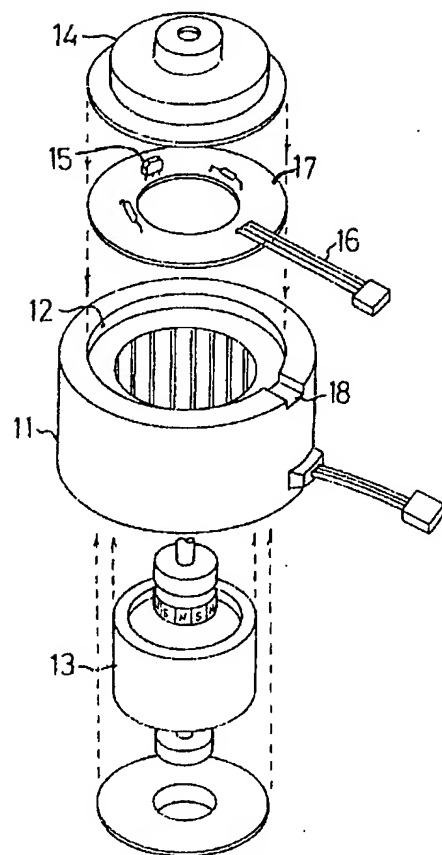
同図中、1はステータ、2は段凹部、3はエンドブラケット、4はステータ、5は磁気感应素子、6は引出し線、7は配線基板、8は溝部、9は溝部、10は永久磁石片である。



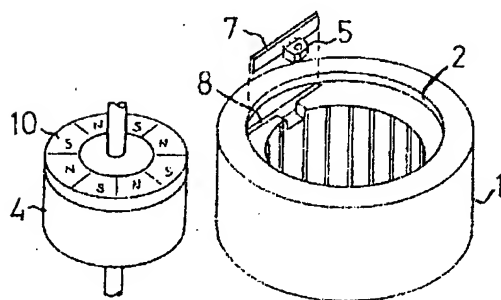
第1図



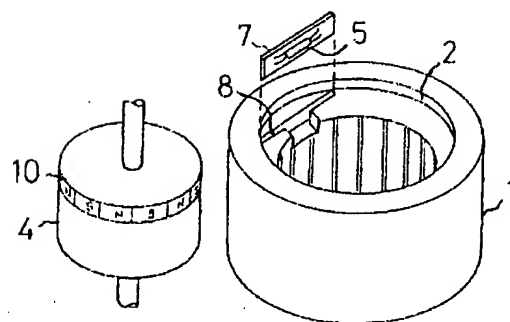
第2図



第5図



第3図



第4図